

研究活動計画書 参考書式（海外特別研修）

1. 現在までの研究とその成果：3,000 字以内で要約すること。（字数厳守。）

- ①これまでの研究と成果について、研究の背景・目的・特色・独創的な点について、記載すること。また、発表した主要な論文等も含めて記述すること。なお、論文を引用する場合は、「3. 研究業績」のうち、どの論文を引用したかわかるよう番号等を用いて明記すること。共同研究の場合は、申請者が担当する部分を明らかにすること。
- ②これまでの先行研究等の論文と比較しながら、本研究の独創的な点について記載すること。
- ③図表を含めてもよいので、わかりやすく記述すること。
- ④発表した主要な論文を修士論文（作成中のものを含む。）としても差し支えない。ただし、その場合は、「修士論文」である旨を必ず明記すること。
- ⑤都市地震工学コースのカリキュラム取得状況
- ⑥英語レベル（TOEIC スコア等）

2. これからの研究計画

- ①どのような研究計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入すること。
- ②共同研究の場合は、申請者が担当する部分を明らかにすること。
- ③次年度に研究機関を異にする場合、もしくは一定期間他の研究所等（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することを予定している場合はその旨を記載すること。

(1) 研究目的（研究の背景及び国内外の研究状況等を含む。）：600字以内で要約すること。（字数厳守。）

(2) 研究内容：1,000字以内で要約すること。（字数厳守。）

(3) 研究の特色・独創的な点：800 字以内で要約すること。(字数厳守。)

3. 研究業績

(1) 学術雑誌等（紀要等は除く。）に発表した論文（採録決定・査読中のものを含む。）

共著の場合、申請者が中心的な役割を果たした論文のみ記載すること。

- ①著者（申請者を含む全員の職・氏名を、論文と同一の順番で記載すること。）、題名、掲載紙名、年月、巻号、頁を記入し、申請者にアンダーラインを付すこと。
- ②出版前の学術雑誌等については、採録決定・査読中の別を明記し、本欄に記載すること。ただし、採録決定されたものについては、受理証明書（メールのみでの受理証明の場合は、プリントアウトしたもので差し支えない。）を添付すること。
- ③学術雑誌等に発表した論文がない場合、(3)の欄に紀要等を記入すること。
- ④学会誌等における紙上発表については、その旨を明記して、この欄に記載すること。

(2) 国際会議において発表した論文

国際会議において口頭発表あるいは、ポスター発表をした場合は、共同研究者（全員の氏名）、題名、発表した学会名、場所、年月をこの欄に記載すること。なお、査読のある会議で発表をした場合は、既発表・採択決定・査読中の別を明記すること。

(3) 学会において口頭発表もしくはポスター発表した論文、紀要等に発表した論文

- ①学会において口頭発表あるいは、ポスター発表をした場合は、共同研究者（全員の氏名）、題名、発表した学会名、場所、年月をこの欄に記載すること。なお、査読のある会議で発表をした場合は、既発表・採択決定・査読中の別を明記すること。
- ②紀要等に発表した論文については、その旨を明記して、この欄に記載すること。
- ③特許等の業績については、この欄に記載すること。